

会議録（要点記録）

令和5・6年度 堺市南区政策会議 第5回全体会	
開催日時	令和6年10月4日(金) 午後6時30分～7時50分
開催場所	南区役所 201・202 会議室
出席構成員	公益的活動を行う区民 大島構成員、岸本構成員（職務代理者）、木谷構成員、小林構成員 区長が行う公募に応じた者 北西構成員、鈴木有美構成員、向井構成員 学識経験者その他専門的知識を有する者 河端構成員、橋爪構成員（座長） 区域内で教育・子育て支援に関わる者 三戸口構成員、中島構成員、 区民の生活に密接に関わる民間事業に携わる者 今中構成員、鈴木京子構成員、中芝構成員
事務局 管理職員	南区役所 中山区長・阿加井副区長・松本副区長・杉参事・西参事 仲田総務課長・上山区政企画室長・川畑自治推進課長 牧市民課長・岡野保険年金課長・森岡生活援護課長 浅野地域福祉課長・百嶋子育て支援課長 為野南保健センター所長・檜本南保健センター所次長 市長公室 神田政策企画部先進事業担当課長 泉北ニューデザイン推進室 北口事業推進担当課長 石崎スマートシティ担当課長
議題	1. 開会 2. 議題 (1) 未来高校生部会での議論について (2) 南区のウェルビーイング像について (3) 南区のウェルビーイング向上に向けた取組について 3. 閉会

<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・配席図 ・資料1 未来共創高校生部会での議論について（発言要旨） ・資料2 南区のウェルビーイング像について（案） ・資料2-2 第4回全体会意見まとめ（項目別） ・資料2-3 第2回高校生部会意見まとめ（項目別） ・資料3 南区のウェルビーイング向上に向けた取組について ・資料4 南区ウェルビーイング見える化プロジェクトのアンケート調査結果（概要）
-------------	--

<p>審議状況</p>	<p style="text-align: center;">開会（午後 6 時 3 0 分）</p> <p>1. 開会</p> <p>区政企画室主幹</p> <p>定刻になりました。ただいまから第 2 期堺市南区政策会議第 5 回全体会を始めます。</p> <p>皆様ご多用のところ、ご出席賜り誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議は公開としており、会議録作成に当たり正確を期すため議事内容を録音いたします。また、記録のため会議の様子を撮影させていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>なお、本日は中辻構成員が所用によりご欠席されております。ご了承ください。</p> <p>それでは、本日の配付資料を確認いたします。</p> <p style="text-align: center;">《資料確認》</p> <p>それでは、以降の進行につきましては、橋爪座長のほうにお願いいたします。よろしくお願いたします。</p> <p>2. 議題 （1）未来高校生部会での議論について</p> <p>橋爪座長</p> <p>それでは、次第に従いまして進めてまいりたいと思います。</p> <p>本日は議題が 3 件ございます。</p> <p>まず議題の 1 つ目、未来共創高校生部会での議論についてであります。</p> <p>7 月 3 1 日に第 2 回未来共創高校生部会が開催されました。全体会からは今中構成員と私が参画しております。</p> <p>まずは、事務局より会議の内容について報告をお願いいたします。</p> <p>区政企画室長</p> <p>令和 6 年 7 月 3 1 日に開催いたしました第 2 回未来共創高校生部会についてご報告いたします。</p> <p>第 1 回開催時の特別構成員に加え、5 月に南区在住の高校生を対象に特別構成員の追加公募を実施し、新たに 2 名の生徒が参画することになりました。</p>
-------------	---

また、大阪府立成美高等学校からも新たに生徒2名が参画することになりました。

構成員名簿を資料としてお配りしていますので、後ほどご覧いただければと存じます。

当日は高校生1名が欠席のため13名で開催され、全体会からは橋爪構成員と今中構成員にご参画いただいております。

会議では南区ウェルビーイング見える化プロジェクトアンケートの調査結果から率直に感じることやご意見、ご自身の居住環境や通学環境、学校生活などを踏まえ、特別構成員の方々のような若い世代にとって、南区のウェルビーイングとはどのようなものであるか。南区ウェルビーイング像(案)についてご自身の考えと合致していること、異なっていること、今の案に足りないと思う要素などの視点からご意見をいただきました。

意見の要旨については、資料1をご覧ください。

安全・安心については、防災訓練に興味はあるが参加したことはないというアンケート結果を受け、公園等にロープの結び方を学ぶ場所など施設を造って、365日いつでも体験できるようにしたらどうか。防災イベントに加え、地域の食材を使ったフードフェスなど同時に開催し、若者の集客が見込まれるような防災マルシェを開催するのはどうかといったご意見がありました。

夜になると道が暗く、防犯カメラと防犯灯をもっと増やしてほしいといった防犯に関するご意見や、交通アクセスのよさは住みやすさに直結する。南区は交通にかかる料金が高く、坂道が多いなど、年配の方には優しくない道が多いため、道路の整備を含め、住みやすさを考えていけたらよいのではないかと移動環境に関するご意見がありました。

子育て・教育については、子育てしていない世代はあまり関係していないから現実性がないため、子育てしていない世代によりイメージを持ってもらえる取組が必要ではないかというご意見がありました。

区の魅力については、南区での遊び、娯楽、外食について満足度が低いというアンケート結果に関して、高校生は公園でも集まるので、以前、泉ヶ丘駅前広場にあった小山のように工夫された場所があればいいと思う。また、今は公園を使用するに当たり禁止事項が多くあるが、高校生が全力で遊べる場所をもっと増やしてほしいといったご意見や、南区にはたくさんの自然やきれいな公園があるので、海外からの観光客の方に対してもっと宣伝できればよいのでは。そのためには時刻表の見方、電車の乗換えなど、見て分かり

やすい図などもあればいいと思うといったご意見がありました。

また、広報やSNSの運用に関して、インフルエンサーやユーチューブショートを活用するなど、若い世代が興味を持てるような取組に関するご提案がありました。

その他としまして、学校帰りに勉強を教え合ったりできる施設が少ないと思う。私たち高校生が低学年の子などにボランティアとして教えたり、自習したりできる施設が欲しい。学校以外の場で学生が運営するイベントがあれば、もっと若い世代を引き込むことができるし、保護者やその他の世代の方たちも来るのではないかと地域のつながり、交流に関するご意見や、外国から来た人が自分の国や文化を紹介するイベントを開催し、様々な文化を楽しみながら学ぶことで、いろいろな国の文化や考え方、背景を知り、理解することができる。子どもの頃からこういうイベントに参加することで、異なる文化を理解して興味を持つこと、お互いの文化を尊重し、自分の国を恥ずかしくないで過ごせるようになってほしいといった多様性の尊重に関するご意見がありました。

説明は以上になります。

橋爪座長

ありがとうございました。

ただいまの報告に関しましてご意見などあればと思いますが、まず、今中構成員、いかがでしたでしょうか、感想があればお願いします。

今中構成員

すごいもじもじしている学生さんらが来ると思いきや、活気にあふれた闊達な方々ばかりですごく圧倒されました。

気づきがたくさんありました。自分も泉北に住んで随分経ちますし、今も勤めて随分経つんですけど、自分が年取ったように、このまちも50年前に比べて少しずつ薄汚れてきているのを、あんまり気づいてなかったです。

私らはよく外に向かつては泉北ニュータウンの魅力は歩車分離であるとか、緑道の魅力というのを泉北の魅力ということで伝えるんですけども、若い子らが客観的に見たら、駅前もみすぼらしいし、緑道もちょっと怖いと。こういうことをやっぱり私らもきちんと目を背けずに見ないといけないと。そのときに、駅前には特に我々が力を入れて行う必要があるんですけど、単にきれいにするだけじゃなくて、今の子らの価値観に合った開発というの

をきちんとしていく必要があるし修正もしないといけないと思いました。

もう一点、自分たちは、子どもさん向けとかシニアの方向けのイベントは一生懸命やっているのですけれども、この中高生ぐらいの子ら向けの企画というのがどうしても薄かったので、こういったことも含めて行って行って、まちへのリレーションというか、そういうものの愛着を作っていく必要があると感じました。

橋爪座長

ありがとうございます。

私の印象としては、他から南区に通われている方も含めて、地域とのつながりを高校生は求めている。高校生が中心となって、地域で何かできないかという声があった。あとは学校帰りで勉強を教え合ったりできるような場所がないのが課題という意見もあった。あと地域の子どもたちと高校生の関係をつくる機会の必要性を何人もの人が提案されていた。このような場づくりを何とか形にできればと感じました。

2回の部会でいただいた高校生のご意見を、我々の今後の活動にも反映できればと思っております。

ここで何かご質問とかよろしいでしょうか。

お願いします。

岸本構成員

今、高校生部会のお話、傍聴もさせていただいたんですけども、やはり我々の視点というのは、どうしても地域の高齢者向けとか、特定の部分になってしまうというのがあるんですけど、高校生が主体となって何ができるんだということをこの高校生部会の14名のメンバーが中心になって、これをやりたい、あれをやりたいというのを何か枠組みができるのであれば、南区役所としても、各自治会にしても、何に取り組んでいいかというのが分かってくるのかなとは思んですけども、こんなことがあったらいいな、こんなイベントがあったらいいんじゃないかと、これがしたい、あれがしたいというような答えが出せるようなものが必要では。これからの高校生部会、もう終わりですよ。

南区長

高校生部会は、今期に関してはこの2回で終わりになります。

岸本委員のほうから言っていた件について、こちらのほうから区のまつりでブースを用意しますので、そこで何かというようなお声がけをしました。今回は、ちょっと期間が短かったので、各校のほうからはご参加いただけなかったんですけども、今回接点をいただきましたので、高校生を含めて、南区の学校と、高校と何かしていく方法というのは区としても必要だなと感じておりますので、何らかの方法で、今回の機会を継続していきたいなとは考えております。

また、勉強できる施設が欲しいとか、ここに記載のあるように、勉強しながら自分たちよりも小さい人たちと関わっていきたいというようなご意見もありましたので、毎回ご意見いただくんですけども、何もない場所とか、別に何か用意するわけじゃないですけども、みんなが集える空間を本当に欲してらっしゃるんだな、そこで多分いろいろアイデアが出てくるんだろうなと思いますので、今、何をということはできないんですけども、やはりこういうご意見を区としても形にしていけないといけないのではないかなと、すごくアイデアをいただいたご発言が多数ございました。

以上です。

岸本構成員

ありがとうございます。

南区内の高校を主体にするのか、南区民の高校生を主体にするのかでやはり見る目が違ってくると思うんで、南区民の南区内の高校生やったらずっと南区にいる中で、どうしたらいいんだということが出てくるのかなと。また、他区の高校生から見た目とまた違うと思うんで、そういった面をやっばり吸収しながら、我々も協力したいと思いますので、よろしく願います。

橋爪座長

ありがとうございました。

では、次の議題に入らせていただきます。

続きまして、議題の2つ目、南区のウェルビーイング像についてであります。

事務局より説明をお願いいたします。

2. 議題 (2) 南区のウェルビーイング像について

杉参事

資料2「南区のウェルビーイング像」について説明をいたします。

本年5月17日に開催いたしました第4回全体会と、先ほどご説明いたしました第2回未来共創高校生部会の意見を改めて資料2と資料2-3のほうにまとめさせていただいております。

それぞれいただいたご意見を安全・安心、子育て・教育、健康長寿、ブランド戦略、スマートシティに分類し、この4つの分類に当てはまらないものをその他としております。

その他のご意見につきましては様々なものがございましたが、おおむね世代に関すること、地域に関すること、多様性に関するものが多かったということ認識をしております。

このことから、事務局として前回お示しさせていただきましたウェルビーイング像を修正するに当たりまして、世代をつなぐ、地域の共創、多様性の尊重といった観点が必要となるというふうに考えました。このような点を踏まえ修正を超えたものが資料に2「南区ウェルビーイング像について(案)」です。

まず、安全・安心は区民が生活していく上で基盤となるものということで、樹木の幹ということで、一番もとになることということで表現をさせていただいております。

子育て・教育、健康長寿は、区民のライフステージに応じて必要となるものということで、樹木の葉っぱということで表現をさせていただきました。

スマートシティはICT等の先進技術を活用して地域課題を解決し、区民の生活の質を高めるためのツールとして必要なものということで、樹木に栄養を与える水、じょうろで水を与えるということで表現をさせていただいております。

今回のアンケート調査結果では、自然に関する満足度が非常に高く、南区の強みであり、特徴であるということが分かっております。

また、安心して暮らせる環境、子育て・教育、自身の健康を高める環境、医療機関の充実度についても満足度が高い結果となりました。

豊かな自然、緑道の魅力といった南区の強みを生かしながら、安全・安心、子育て・教育、健康長寿、スマートシティに関する取組を強化し、安全・安心、健康、癒やし、自然、環境などの豊かなライフスタイル全体を南

区の魅力として南区ブランド戦略「みどりとともにかなえる豊かな暮らし」を広く発信し、魅力を向上させることがウェルビーイングの実現につながるのではないかと考えております。

なお、ウェルビーイング向上を図るためには、年齢、性別、国籍、生まれ育った環境、障害の有無や種類、価値観の違いなどを肯定的に受け入れ、尊重する多様性の尊重、若い世代と高齢者などの他世代の交流により、新たな価値観や発想を創出する世代のつながり、防災対策や地域活動など、地域間のコミュニケーションやつながりにより、ここに取り組む地域の共創、こういった3つの観点を持ちながら取り組むことが必要というふうに考えております。

以上がウェルビーイング像についての説明になります。

橋爪座長

ありがとうございました。

事務局より南区ウェルビーイング像について説明がございました。

前回の会議で、アンケート結果から第1期のこの政策会議で示されました安全・安心、子育て・教育、健康長寿、ブランド戦略の3つの方向性を変えるものではなく、項目ごとに南区の強みとして伸ばしていきたいという考え方をご承認いただきました。今回は、前回会議での議論内容と7月に実施いたしました高校生部会の意見を踏まえて、改めて南区ウェルビーイング像について提案いただいたものです。

この図に関しまして何かご意見、ご質問、あるいは具体的な修正すべき文言とかがありましたら、ご指摘あればと思います。

いかがでしょうか。

中芝構成員

非常に難しいかなと思うんですけども、あえてというところで、こちらは土壌の部分がこれは区役所だけではなくて、市民全体がこういう意識を持ってやっていく部分かなと思っていて、その中で安全・安心、木の幹を市役所が整備していくことによって、葉っぱ、実りが整っていく図かなと捉えています。

スマートシティのところの一部スマート街路灯とかあったりするんですけど、これは名前がスマートとついているんですけど、前で書いてあるように、安心して暮らせる環境、基盤の幹のところにも入るんかなと思ったりもし

たんで、そういったところで、もう少し見直してもいいのかなとは、そこだけは思いましたのと、この葉っぱのところ、緑のところ結構点がぼつぼつぼつとあるんですけど、これは特段何か意味があったんでしょうかというところでお伺いしたかったところです。

橋爪座長

お願いいたします。

杉参事

ありがとうございます。

スマート街路灯につきましては、まさにおっしゃるとおりでありまして、スマートシティという観点でもありますが、安全にして暮らせる環境というところの要素もあると考えております。項目としてスマート街灯等ということで、安全のところに入れさせていただいているところであります。

それと、点々となっているところにつきましては、根元からこういう世代のつながり、多様性の尊重、地域の共創とか、こういった観点がずっと根から上がってきて、循環をしているというような、葉っぱのところですね、ぐるっと回って循環をしているというようなイメージで、これを表現しているようになっております。

中芝構成員

ありがとうございます。ちょっとこちらの右上にある各施策、子育てとか医療機関とか、そういったものが一つ一つ実っていくと思って捉えてしまったので、循環ということですね。分かりました。ありがとうございます。必ずしもこのポツの数が、施策の数ではないということで、ぐるぐる回っている、栄養価与えているということですかね。分かりました。ありがとうございます。

杉参事

少し分かりにくいところがあったかもしれませんので、そこは循環していることが分かりやすいような表現を考えさせていただきたいと思います。

橋爪座長

ありがとうございます。スマート街路灯は具体的に導入しているという理

解でいいんですか。

区政企画室長

特に具体的に取り組んでいるというわけではなくて、将来的にこういうことができればいいというので書かせていただいています。

橋爪座長

それでしたら、事業として進めているスマート区役所と同じレベルになっているのは、若干気になるので、スマート区役所を上にして、スマート街路灯などとかの記載方法は、精査いただければと思います。

杉参事

ウェルビーイングに関する要素ということで表現させていただいておりますので、今、ご指摘いただきましたレベル感につきましては、精査をさせていただきます。

橋爪座長

よろしくをお願いします。スマート街路灯は図にも記載がある。導入する方向に見えるというのがご指摘のことかと。

杉参事

承知いたしました。少し整理をさせていただきます。

向井構成員

すみません、この中で堺市の南区のブランド戦略「みどりとともにかなえる豊かなくらし」という、緑が多いということは入ってこないんですか。このウェルビーイングの中の要素として、この南区の特徴みたいなものが、これやったら他の地域で同じ多分課題に解決する組合せやと思うんですね。でもこの南区の特徴として豊かな自然がどう解釈されていくのか、その辺も何か共通の認識を持つとかなないと、今までどおりやっぱりバラバラな、世代によって例えば緑道がすばらしいという人もいれば、若い子たちが緑道が怖いみたいなことを直感的に答えたということは、そういうところの共有ができないんじゃないかなと。緑をどう解釈して、どう表しているんですかみたいなことがこの図の中で説明できないと、じゃあこれは他の地域と変わらないよ

うな感じがするんですよね。この下の世代のつながりとか多様性の尊重とか地域の共創とかというのが全部、私、自治会活動やっていますけども、物すごくやっぱりよく分かる。世代のつながりを持たないといけないし、色々出てくる多様性を尊重しないとイケない。地域の共創もみんなで作っていくものをつくるということも、それがこの図で言えば、当然のことなんですけども、じゃあ南区として豊かな自然というこの図の中でどう解釈したらいいのか、例えばスマートシティは今の時代やから、例えばこれからデジタル、DX化がどんどん進んでいくという上で、スマートシティという考え方がここのコンセプトとして入ってくるんですけども、じゃあ我々がずっと持ち続けている豊かな自然をどう解釈していくのかというのを何か共有、全体で説明できないかなと。そこができれば、みんなどの世代にも共有していくことの課題が見えてくるような気がするんですけど。

杉参事

ありがとうございます。南区の特徴として、そういう緑に特化してみたいなところは、アンケート結果のほうでもすごく特徴として出ているところになっております。

今、ご指摘の点につきましては、この絵の中でそこをどう見たときに分かっていたかということの課題提起かなと思っておりますので、今、左の上のほうに自然であったり、豊かな自然、緑道の魅力という言葉を書かせてはいただいているんですが、この辺りもちょっと表現の仕方を少し工夫させていただきたいとは思っています。

橋爪座長

よろしいでしょうか。他いかがでしょうか。

お願いします。

小林構成員

幹の話でなくてすみません。枝葉の話をしてします。

スマート街路灯なんですけど、多分、何かデジタルサイネージと防犯カメラと通信技術と使うと、さっき言ったボロボロの掲示板とかという話も解決するし、一斉に配信できるので、新鮮な情報が表示される、かつ、暗いはずの緑道がちょっと明るくなる、自治会の役員さんの手間も省ける、防犯カメラになるんだったら、それも記録ができるので、何かそういう技術があるの

かどうかは分からないんですけど、もしそういう解決策があるんだったら、ぜひ入れていただきたいなど。電線でつながるんじゃなくて、そこにきちんと蓄電池があって、災害時に街路灯が全部消えたとしても、緑道だけは明るいというような打ち出し方をすると、防災にも強いまちというのが本当になる。電柱もないので、緑道には、通れないということもないと思うんです。ほとんどの緑道を多分軽自動車は通れるので、物資の搬入もできるし、何かそれぐらいちょっと飛び越えた感じのものを一本つくらないと、防災への強さみたいなものは演出できないかなと思うので、何かそういうのもぜひ企業さんと連携して作っていただけたら、南区スマートシティになると思います。

以上です。

橋爪座長

ありがとうございます。

区政企画室長

ありがとうございます。考え方としてはすごく面白いといったら失礼なんですけれども、すごくいいアイデアだなというふうにはお聞きして感じました。

ただ、なかなかいただいたご意見をすべて実現することはできないんですけど、そういう視点は大事にして取組を考えていきたいなと思います。

橋爪座長

ありがとうございます。蓄電型の街灯で、緊急時の電源になるものなど他にもいろんなタイプがあるようです。防災のために、また発災時に対応できるようなものを、検討していただければと思います。

自治推進課長

すみません、広域避難所に実は今おっしゃっていただいたような災害時にも電灯がつく、ソーラー式蓄電池の防犯灯をつけたんですね。実は1基120万円から150万円ぐらいするということになりますので、全体につけると非常に難しい部分があるんですけども、おっしゃっていることは非常に分かります。本当に災害時にも役立ちますし、そういったところに必ずマンホールトイレとかもありますので、非常時にはやっぱりそういうものは非常に

必要かなというところで、今後、もう少し値段が安くなるところで増やしていけたらいいかなというふうに思っております。ありがとうございます。

小林構成員

サイネージとセットにしていきたいなということで。セットにすると、日常も使えるし、災害時にも使えるという。

橋爪座長

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

お願いします。

鈴木京子構成員

この幹のこれなんですけど、一番下にある土壌、大事なところに3つ、世代のつながりとか多様性の尊重と地域の共創とあるんですけど、その横の四角いボックスに具体的にいろいろ書かれているんですが、この多様性の尊重のところがちよっと弱くないですかね。具体的に、さっき高校生のご意見とかいうのは、外国人という方もいらっしゃいますし、ちよっと何か障がい者のことがなかなか出てこなかったんですけども、やっぱりこの南区民の例えば生活の向上というのは、区民の中には障害のある方もいらっしゃるのので、単純に日常生活がそんなに難しくない人の向上もそうですけれども、現段階で生活がしづらい方もいらっしゃると思うんですね。そういう方にとっても、やっぱり住みやすい区になっていただきたいと思うので、せっかく多様性の尊重と書かれておられるので、例えばいろんな手段を使った情報提供、それは多言語というの、外国語もそうですし、見える化とか、これは結構やっぱり大事な部分かなと。情報を発信していく、受け手に合わせながら発信していくということは、結構、防災にとっても重要だと思いますので、この辺りを何かアピールしてもらえたらなということと、多様性はすごくいい言葉なんですけども、じゃあ具体的にどんな人がいるのというところがなかなかイメージしづらい。外国人と接しない方もいらっしゃいますし、障がい者の方と今まで会ったこともない人もいるかもしれないので、そういう想像ができるような表現が、ここにあるかどうかというのは別として、これからいろんなことを打ち出していかれる中に、こういった多様性は、実は南区にはこういういろんな方がいるんですよということをもっとアピールされてもいいのかなというふうに思います。

杉参事

ご意見ありがとうございます。

まず、多様性の尊重というのはいろんな観点があってというところで、ご意見であったりというところになります。ここにつきまして、このウェルビーイング像を基に、今後、また具体的にどういった取組をやっていくかであったりとか、次期基本計画の改定というのもございますので、その中でもう少し具体的に表記できる場所であったりとか、検討できる場所については考えていきたいと思っております。

南区長

少しだけ補足というか、この木1本ずつがお一人お一人のイメージと私自身は捉えているんです。ウェルビーイングという言葉突き詰めていくと何になるんだろうと、やっぱりお一人お一人のいわゆる福祉の向上というものもウェルビーイングの言葉の中に入っているんだろうと、公共としてウェルビーイングというものを出すときには、言葉が適切でないかもしれませんが、それぞれの格差をいかに埋めていくかということが、この片仮名ウェルビーイングに入ってるのではないかなと思ってる場所なんです。ですので、多様性の尊重、その多様性一つ、いわゆる男女であったり、障がいの有無もありますし、それだけでもつかみ切れないというか、全部捉え切れない多様性というものをどう表現したらいいのかというところは難しいと考えております。

多様性の尊重という言葉になってしまうんですけども、その多様性一つでも、その中身というのは、ご指摘いただいたように、これとこれとこれだけというようなものではない。目ざすべきところ、おっしゃっていただいた南区でこの図を出すところの意味合いであったり、一人一人、イメージとしては生まれてから、今で言うと100歳までの人生を豊かな土壌の中で自己実現していただくというような、それを木のイメージにして、お一人お一人の木が立ってるという状態が南区のありようのかなというところで、私自身はこの図を理解しているところでございます。

やっぱり目ざすべきところは、どうしても抽象的な表現になってくるんですけども、その中で個々の事業で区役所がすべきこと、また、堺市がやるべきことというものを、さっきおっしゃっていただいたスマート区役所、スマート街路灯という、これをじゃあどう実現していくのかというところは、

個々の施策に、もっと身近なところに落ち着けていかないといけませんので、方向性として、議論いただいたところ、この絵のイメージというものの共有とすることができるのであれば、目指すところはこれで間違っていないのかなと、趣旨のところは少しまた今日いただいたご意見を踏まえて、表現方法であったり、分かっていたくための書き方、表し方というものは考えていきたいんですけども、方向性のほう、こういうことだよというところが各委員のほうから何かご意見をいただければ、またこれをブラッシュアップしていけると思いますので、何とぞよろしく願いいたします。

向井構成員

この安心して暮らせる環境、左側の一番上なんですけど、自然災害の少なさというのは、これは結果であって、いつも大阪だけが何か物凄くラッキーな位置かなと。風水害もないし、地震の災害も今までそんな、周りはすごい竜巻が起こったりいろいろするんですけど、特にここだけはそんなにないのは結果論であって、これを書かないほうがいいのかなと思います。自然災害の少なさというのは、いつ、何どき、震災が起こるか分からないという状況なんで、その自然災害の少なさというのが、ここの基本の中に入ってしまうと、やっぱりちょっととんでもない、自然を軽んじているかみたいなことに考え方がいってしまうので、それはできたら取ってほしいなと思います。

橋爪座長

おっしゃるとおりで、むしろ災害への備えを怠らないというような書きぶりのほうがいいかもしれないです。ちょっと事務局で検討いただければ。

区政企画室長

この三角矢印の意味というか意図なんですけど、今現在、南区が自然災害が少ないということを表しているというよりかは、安心して暮らせる環境のためには、自然災害というか、自然災害が少ないということが安心して暮らせる環境になるよねという、こういうところというか、静かで住みやすい住環境を整えば、安心して暮らせる環境になるよねという考えられる因子というのを並べてる意図で書いているので、今、南区が自然災害が少ないという意図では書いておりませんので、ただ、入れることで、ちょっと安心感を辺に与えるということであれば、要素として抜くというのは一つの考え方かなと思います。

向井構成員

自然災害という言葉自身が、自然災害という、自然ということなんで、例えば人災とかが少ないのであれば、市の特徴として出していったらいいスローガンとしていけるんですけども、自然のスローガンといたらあれなんですけども、方向性の中で、こういう形で入れてしまうというのは、ちょっとやっぱり人間としてやってはいけないかなと思うんです。自然のことは我々はどうすることもできないんですよ。いつ地震が起こってという計画もできないし、台風がいつ来てどうのこうの、例えば水害が来ないことを願うんですけども、ただ、自然災害の少なさみたい、少なくするような方向というのは分かります。確かに例えば人間の努力で自然災害、例えば堤防なんかの例で言えば、川の護岸をきちっと整備するとか、そういうことというのは努力として分かるんですけども、自然災害を少なくするというのは、我々の方向性としては分かるんですけども、それを書いていったときに、やっぱり誤解を生むんじゃないかなという気がします。

橋爪座長

ありがとうございます。ちょっとまた事務局で検討いただいて、ご指摘の点は、災害への備えというのも、下のほうに防災対策とあるので、だから要は備えが十分であるということのほうが、多い少ないではないと思いますので、ちょっと書きぶりを検討できればと思います。

区政企画室長

はい、分かりました。

橋爪座長

他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、おおむね大きな枠組みはこれぐらいだと思いますので、本日、ご指摘があったところは事務局のほうで精査いただいて、修正いただければと思います。

この図は（案）を取った形で、次回、11月15日金曜日、南区選出議員との意見交換会において、南区政策会議で議論した南区のウェルビーイング像として提出ということになります。ご理解いただければと思います。

2. 議題 (3) 南区のウェルビーイング向上に向けた取組について

橋爪座長

では、最後の議題であります。

南区のウェルビーイング向上に向けた取組について説明をお願いいたします。

区政企画室長

アンケート調査結果に基づき、議題において南区のウェルビーイング像についてお示しさせていただきました。

南区のウェルビーイングを高めるためには、アンケート調査結果から、南区の暮らしのどこに満足、不満足を感じているのか、また、世代によって異なる面や価値観の違いを踏まえつつ、南区の強みを伸ばし、弱みを改善していく必要があると考えています。

資料3をご覧ください。

アンケート結果・仮説の欄には、資料4のアンケート調査結果や結果から設定した仮説を記載しております。安全・安心、子育て・教育、健康長寿、魅力の項目ごとに分類して記載のほうをさせていただいています。

考えられる取組例の欄には、これまでの会議や高校生部会でいただいたご意見、また、区として考えられる取組例を記載しています。

1行目を例で説明しますと、資料4の16ページ目の落胆体験というページがあるんですけども、その中で、夜の緑道が暗くて怖い、街灯が少なく、夜間の道を歩くのが怖いという意見が多く、また、13ページ目の子育てしやすい環境に求めるものとして、治安がいいというふうな意見を上げる声が多く見られるというところから、再三、言われているところではあるんですけど、考えられる取組例としては防犯灯、防犯カメラの整備ということをきっちりやっていかないといけないかなというところで取組例を書かせていただいています。

そういった形で、主立ったところというのをピックアップさせていただいているのがこの表のほうになります。

説明は以上になります。

橋爪座長

ありがとうございます。

ただいまの説明に関しましてご意見、ご質問があればお願いいたします。
お願いします。

今中構成員

アンケートの結果・仮説のところの上から3つ目の世代全体で運賃が高い、これしつこく申しますけれども、4月1日から泉ヶ丘・難波間の定期券、通勤定期が6,000円下がるんです。結構なインパクトになります。それは、多分、このエリアは高いで高いでというふうに言われているのを、これだけ安くなりますよと言うチャンスかなと思っています。

泉北高速さんもこの件については、安くなりますよというのを結構しっかりプロモーションしていくと言ってるんですけど、ぜひこの辺り、区さんとも一緒に、区のプロモーションとして、南区住みやすいですよという中の一つとして運賃問題、ちょっとなくなりつつありますよというあたりをご一緒に提案させていただけるとうれしいなと思っておりますので、よろしく願います。

橋爪座長

ありがとうございます。他いかがでしょうか。
お願いします。

向井構成員

資料3の4つ目、世代共通で地域イベントの満足度が低い傾向がある。これが6ページ、7ページ、8ページ、地域イベントの満足度が非常に低いんですね。かといって、考えられるというのは、堺市として、例えば市とか区がイベントをやることじゃないと思うんですよ。直接結びつくイベントを求めているんじゃなくて、例えば私らが若い頃に、やっぱり情報といたら大阪市があって、大阪市のイベントとかやっぱり魅力があって、そっちへ行くような感覚で捉えてたんです。地元のイベントといたら、またちょっと違うかなと。自分たちが参加できる、自分たちの発表の場であったり、あるいは、自分たちが例えばグループでダンスできる場であったりとか、自分が何か取り組めるようなイベントのイメージやったら、その地域で取り組んでいくかと思うんですけども、求めるイベントで満足するような、例えばコンサートなんかでも、やっぱりフェスティバルホールでやるコンサートなんかは全然やっぱり違いますし、天王寺界限もそうだし、やっぱり大阪市の魅力

にはイベントとしての満足度や、情報はそっちのほうがあるので、そこと比べるんじゃないかと、何かもうちょっとここは工夫が欲しいなという感じがします。

橋爪座長

いかがでしょうか。

杉参事

ありがとうございます。もちろんいただいたご意見のとおり、大規模でやられてるコンサートとかそういうことではなくて、地域に根差した地域のニーズに応じたイベント取組、またそれをどう広げていくかというところが非常に重要だと思っておりますので、その辺を踏まえまして、検討はさせていただきますと思います。

橋爪座長

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

お願いします。

中芝構成員

こちらの資料の18ページのQ27のところに書いてあるんですけど、スマート街路灯とか、先ほど出ましたけど、スマート区役所のところの要望が、実は40代以下に関しては、結構、単身の方も子育て中も多いということで、今後、南区のほうで30代、40代の区民を増やしていく、もしくはは続けていただくということが結構重要なところかなと思っております。

昔と違って共働きの人も多いのかなと想定してまして、平日だとなかなか区役所に来にくいのかなと思っております。

今、自分が住んでいるところも、やっぱり平日が当然主な開庁時間ですと、手続しようとする、夜か土日しかないんですけど、なかなか開いてないということがございました。もちろんそこを解決するために、ICTを使ったスマホからとかのいわゆるスマート手続というものもあるんですけども、そうじゃない、なかなかそれを使えない方とか、やはり対面で話したい方もいらっしゃるかと思いますので、そういった意味では、平日のどこかを少し開庁時間か何かを効率化してでも、月に何回かは土日とか、夜間もいろんなサービスをするということもあったらいいなというのがあったんですけど

ど、その辺りが、今、どんな感じかなというのを伺いできればと思っております。

私の地元のほうでは、ちなみにマイナンバーの受付とか、国とか役所が進めたいことはどんどん土日も窓口が開いてるとか、駅前もたくさん臨時の窓口を作ったりしてるんですけど、一般的な手続はなかなか、そういうのが進むのは難しいかと思っております。全部を土日も開けることは難しいと思うんですけども、例えば第1、第何曜日は日曜日はやっていきますよとか、そういったことも、ICTを使ったスマート区役所、ハイブリッドで進めていければなというふうに感じているんですけど、いかがでしょうか。

南区長

現状でお話ししますと、開庁日であったり開庁時間というところの弾力的な運用というところはまだ進んでおりません。マイナンバーに関しては、休日というところは、多分、全国一律だと思うんですけども、今、どちらかと言えば、来ていただかなくても手続ができる方向にシフトしているところが実情でございまして、もしくは、対面ではなくて、オンラインで相談業務とかを承ることができないか、ICTの環境で、対面ではなくてオンラインサービスというところ、ちょっと一歩踏み出しているかなというところが実情です。

開庁日、土日開庁であったり、例えば夜間の開庁になかなか踏み切れない一つは、例えば開庁するためには、システムを全部動かす必要があり、システム所管課のところ稼働している間の人員が必要になってくる、やはり人員体制が厳しい面が課題としては大きいところです。そういう意味では、対面での時間延長は、例えば週7日間で月曜日を例えば3時終わりにする、その分を土日開庁とするとかというように、週の時間で稼働を考えることができれば、一つ進むのかなとは思いますが、なかなか、すみません、南区含め、堺市としては、今、そこまでは進んでないのが現状ですが、そうあるべきだろうという議論はしております。

現状は以上でございます。

中芝構成員

ありがとうございます。全ての実現は難しいと思っておりますが、例えばICTで全部をスマホで全手続ができるようになるとか、全部の方々がそれを利用していくとなると、なかなかそっちらも難しいと思っておりますので、合わせ技

といたしますか、うまくしていただければと思っています。よろしくお願いいたします。

橋爪座長

ありがとうございます。他いかがでしょうか。
お願いします。

河端構成員

ちょっと教えていただきたいんですけども、現状等を教えていただきたいんですけど、例えば、今、南区、こちらのほうの資料で、16ページの65歳以上が34%ですか、かなりの数だと思うんですけども、こちらのほうの健康長寿の項目で、確かに運動とかは必要だというのはみんな理解していると思うんですけども、実際に、多分、こういうところというのは、医療費とか福祉予算とかに物すごく反映してくるはずなんですけれども、その辺のところの動き方というか、数値の変化というのは捉えてるんでしょうか。実際に分かってるけれども、残念ながら、はっきり言うと、ただ歩いてるだけだと体力は改善しないんですよ。これはすごい常識的な話で、1万歩歩いても体力は改善しないんですよ。だからそういったところで、多分、34%といたらかなりの数だと思いますので、何かそこで一步踏み込んだ数値というか、結構、満足度が高いように見えるんですけども、意外と困ってる方が結構いらっしゃるんじゃないかなという気がするんですけども、健康長寿とうたいながら、本人の体力の動向といいますか、そこがお年寄りの方ですと、維持していることが若い人の向上と同じ意味をなすものですから、そういったところをしっかりと押さえておかないと、本当に健全なまちといたしますか、活気のあるまちというのはなかなか維持できないんじゃないかなと思うんですけども、その辺のところは全然見えてこないんですけど、実際、どうなんでしょう。

南区長

証明、いわゆるエビデンスはございません。医療費の推移は見ていますけれども、それが南区でこういう運動をされてて、結果的に健康を保たれてるといふところの直接的なデータというものは把握できてないのが実情です。

河端構成員

実際、今、実際単位で言ったら、大体20%ぐらいは削減されるんですよ、医療費が。病院モデルでやってるのは20%ぐらい削減されるんですね、5か月、6か月間の適切な運動をしているとですね。そういうようなものもデータとして出てるということと、ちょうど、今、見てて、私、今、滋賀県の長浜市というところに住んでるんですけど、10万人ぐらいなんですよ。もうちょっと、多分、高齢者のパーセンテージで言うと、それでも30%を超えると思うんですけども、ちょっと市長と話してて、こんなに予算が、多分、後期高齢者の医療費負担の想定が1億6,000万円ぐらいなんですよね。ところが、社会福祉になると110億円かかるんです。そういう計上をしているわけです。年々、増えていってるわけですね。だからそれに近いようなもの、もしくは、また上回るような数字が出てくるんじゃないかなと思うんですけど、そういったところが削減されていけば、先ほど何とかに100万円かかるとか言ってましたけども、そういうところへ回せるんじゃないかなと。縦割りからやっぱり横串入れないと、これからというのはそういうトータルで見ていくとよいと思う。健康長寿というところで、満足度みたいなのは高いが、実際にはどうなのというのが非常に興味があり、何かお役に立てればと思い発言させていただきました。

南区長

ありがとうございます。堺市の中で、確かに南区の高齢者の方の人数というものは一番高い点は間違いございません。

ただ一方で、介護度の重い方といいますか、介護度が進んでらっしゃる人数は、高齢者が占める割合が高い中では比較的低いといいますか、そこが同じ右肩上がりではないというところで、推測ですけども、それはやはり健康の意識が高い方、もしくは健康を維持できる環境がやはり南区にはあるのではないかと。例えばウォーキングとかを含めてですが。推測であって、委員おっしゃるようなエビデンスは、今、持ち合わせてはいないところです。

医療費に関しても、そのような形で分析ができれば、一定、そこがひもづけられる数値になるのかなと思うんですけども、申し訳ないんですが、今、それは持ち合わせておりません。

そういった見方ができるということは考えていかなければいけないし、そういうものを入手できるようにならないといけないということは参考にさせていただきます。ありがとうございます。

橋爪座長

ありがとうございます。他いかがでしょうか。
お願いします。

北西構成員

感想になってしまうんですけど、緑道について、夜の緑道が暗くて怖いという意見は確かにそうだと思うんですけども、正直、私の世代、私の家の周りだと、昼でも緑道を使ってないなというのが結構あって、私も家から駅まで徒歩で30分ぐらいかかるんですけど、緑道は使わないことが多くて、その理由としては、起伏が多いとか、結局、緑道を使ったほうが遠回りになってしまうこととか、人が昼でも少なそうというイメージから、車道沿いの歩道をいつも使って駅まで行ってるということがよくあって、結構、緑道を使うのは通学の小中学生とか、ご高齢の方というイメージが結構私の中であって、一定以上の年代になってしまうと、緑道が魅力であることは分かりつつも、どうしても生活圏内じゃなくなってしまうのかなというのが一つあるので、そういった意味でも、魅力発信はもちろんなんですけど、実際、緑道を使わせるとか、緑道に意識を向けさせるような取組がやっぱり書いてあるように大事なのかなと思っています。

緑道で実際何をするのかということ、私の住んでいるところは特に起伏があってというのがあって、緑道で何かできるのかなというのはちょっと分からないところではあるんですけど、例えば、記憶が定かではないんですが、光明池のほうでは公園愛護会の方が緑道沿いにある公園を小学生と一緒に整備したりしてるみたいなのを聞いたことがあって、そういった緑道沿いはやっぱり公園もあると思うので、そういった地点で、主に使ってる小学生、中学生はもちろんなんですけど、いろんな世代の方の交流とか持てたら、すごく緑道が身近になるのかなと、思いました。

橋爪座長

ありがとうございます。

杉参事

ありがとうございます。緑道の魅力を知っていただく活用方法ということで、いわゆるおっしゃられているように、緑道を日頃使われている方と使われていない方ということで、いろいろ魅力が分かっていただけでなかったと

いう状況というのはあると思いますので、これは南区の強みでもありますので、そこをどう届けるかということに関しては、検討のほうをいろいろさせていただきたいと思います。

橋爪座長

他いかがでしょうか。

お願いします。

大島構成員

緑道のことなんですけど、緑道は私たちでもほとんど使っていません。やっぱり人があまりいないから、あの辺は物騒だとか、そういうのがありまして、でも使うというのは、高齢の人がハイキング代わりに、その緑道からいろんなところを巡って、大蓮公園に行ったり、駅前まで行ったりという、ハイキングがてらに行くのには緑道を使っています。ハイキングのあれもありましたよね、南区のほうで。そういうのは緑道のほうで使っていますが、ほとんど日常的には使わないので、魅力としたらハイキングぐらいかなと思うんですけど、ハイキングで使うような緑道的なもので、皆さん、お使いにはなられますけど、ほとんど日常的には使っていません。

橋爪座長

ありがとうございます。

お願いします。

木谷構成員

ちょっと教えていただきたいのがオンデマンドバスの現状と、それと今後の取組見込み、これがどんな状況になっているのか教えていただけますか。

スマートシティ担当課長

オンデマンドバスですけども、今、第三弾ということで、令和4年度、令和5年度、令和6年度ということで、この10月1日からまた第三弾となるオンデマンドバスのほうを南海電鉄さんと我々堺市、南海バスさん一緒になって、今現在、取り組んでおります。

今まで3回ということで、1回目、2回目という結果を踏まえまして、停留所の場所につきましても、当初、一番最初が29か所から2回目が50か

所、今回は81か所ということで、どんどんどんどんバージョンを上げていく形で、充実していくような形で実施しております。

昨年度につきましては、4か月間の利用で、すみません、ちょっと今ぱつと数字が言えないんですけど、3,500人ほどの利用がありまして、何よりもやはりアップダウンの多い地形というこの泉北ニュータウン地域において、やはりご高齢の方も多い中で、非常に満足度の高い取組ということで、スマートシティの取組の中では一番課題の解決という部分では、住民の方から評価いただいているような状況です。

今後につきまして、事業採算性とかいう部分でいろいろ厳しいところがある中で、今回の第三弾というところでは、今まで利用料金の収入でそういう採算というところを合わせていたところはあるんですけども、やはり皆さんに使っていただいて、もちろん利用料をたくさん上げるというところはあるんですけども、地域で新しい公共交通として支えるような移動手段となるようにするために、停留所を設置した施設のほうから、広告料収入を頂くとかというような方法も検討しながら、サービスの定着化ということを進めるような取組で、今、南海電鉄さんと一緒に汗をかいているところです。

補足があれば、今中部長、私のちょっと発言が足りないところを補足いただけたらと思います。よろしく申し上げます。

今中構成員

ありがとうございます。こういう場で質問をいただくだけでもすごくありがたいことです。やっぱり関心を持っていただかないことには、こういう新交通はなかなか定着しませんので、今の質問に感謝申し上げます。

10月1日から運行しています。1回目のときは1日平均14人乗ってまして、去年は28人、今のところ、大体30人から40人の方に乗っていただいています。今年度、目標にしているのが1日50人乗っていただくことで、これが達成しましたら、次年度、万博の期間はちょっと運転手さんがいないので走れないんですけど、その後、11月から丸1年間運行したいと思っております。

まだまだ何をどうやっていったらいいのかということで、暗中模索の状態ですけど、何とか定着させたいと思っていますので、引き続き、皆様のお力添え、よろしくお願いいたします。

橋爪座長

ありがとうございます。オンデマンドでルート、最適ルートをAIが考えるというのが新しいですが、基本的にベースは前からあるコミュニティバス、地域でバスを運行するという。地域の方の支援がないと、なかなか採算があわない。たとえば京都の醍醐地区では、地元が頑張って法人をつくり、地域が主導するタイプのコミュニティバスの運行が20年以上も続き成功事例になっている。京都なので観光シーズンはコミュニティバスも観光客を運ぶという事業もある。また万博の後の社会実験はいつまででしょうか。

今中構成員

一応万博の後までで。

橋爪座長

後までで、社会実験で、国の補助が入ってということ。

今中構成員

今年が契約してますけど、第三弾です。

橋爪座長

で最後ですか。社会実験は今回が第三弾、万博の後はもう少し長期でやると。

小林構成員

南区だけじゃなく、堺市とか、今、行政は、事業の達成が見える化するというのが、多分、数値設定してやっていると思うんですけど、これ、途中経過も見える化したらいんじゃないかなと思って、先ほど河端さんおっしゃったのと、今中さんのオンデマンドバスの話もそうなんですけど、オンデマンドバスでの目標は1日50人と設定してるなら、その過程を使う人、市民さんとかが見えるような状況にする。例えば移動平均の数値がちゃんと出るようになって、例えば今までの累計で30人とかの平均が出たとしたら、1日平均30人出たとしたら、次の日に例えば50人乗ったら、その平均の数値が変動していくと思うんですけど、それを何かアプリ等で見えるようにしてると、明日誰か誘って乗ってみよみたいな気持ちにさせていく。それは市民さんも同じで、さっきの要介護の話だったりも、誰かが一歩、1万歩をその日歩いたのが何か集計されて見える化されるみたいなことができると、

市民も一緒に応援してるというのが見える化されると思うんです。河端さんのおっしゃってた、歩くだけじゃなくて、例えば体操、区だったり社会福祉協議会とかが応援してる講座に行けばポイントがたまるというだけじゃなくて、全体としての成果が上がっていくみたいなことを見る化する方が共同意識も多分高まるし、今だと個人のポイントだと思うんですね。今の個人のポイントだけだったら、自分のことしか考えなくなっちゃうと思うんですけど、誘う、同じように一緒に頑張ろうよという動機づけにもなるし、そういうアプリに変えていけると、成果も出やすいし、市民の気持ちもちょっと変わってくるのかなと思って聞いてました。

事業の数値化で何か人数とかというのは、市民からすると全然遠いし、職員さんがやってても、あんまり頑張る気持ちになれないんじゃないのかなと思って、一緒に頑張ってる、市民さんも応援してくれてるという気持ちがあるほうが職員さんも頑張れるし、市民のほうも、自分がやった行動がそれにつながるとい気持ちに変わっていく。行政が何々をやってくれない、こんなやつたらいいんちゃうというんじゃないくて、じゃあ自分は何ができるのかというのを考えるきっかけになると思いました。

すみません、以上です。

向井構成員

ちょうど、今、その見える化という話が出たんですけど、原山公園でやってるparkrunというのがあるんですけど、あれは完全にそういうのを意識してやってますね。だから参加する人が、じゃあ、今、何人どこを歩いてて、次は自分がどんだんその中に入っていけるといのか、参加する意識、人も誘いやすいですし、一緒にこう、だからこそあれを微力なところで展開するような考え方を持っていけばいいかなと。

鈴木有美構成員

何かこのままの流れで、ちょっと違う課題の話で、世代共通で地域イベントの満足度が低い傾向があるというのがあって、地域イベントは基本的には主催している人も地域の人で、お客さん側になったときに、隣に住んでる人が主催してるイベントに満足してないというのもすごいおかしな話と思って、あなたも主催する側になってもいいわけで、関係者になった途端に、実はそのイベントをすごく楽しめたりとかもするので、全ての世代の人とか、多様な外国のルーツであったり、障害者の方であったりとか、既存の今まで

もやっている「みどりのつどい」とかを軸にして、もっと多世代の人がいろんな枠組みを取っ払って、そこに参画するという側に。参画する側も間口を広げて、お客さんじゃなくて、あなたもそこに参加できるんですよということ、さっきの高校生のイベントもそうなんだけど、午前中はお客さんだけど、午後からは店番するみたいなことが、いろんな世代の人たちで、いろんなお店というのが、1日、2日ぐらいでなるような、南区が一枚岩になって、西原公園以外に誰もいないみたいな、何かそういうような、一日、南区といえばこれみたいなイベントがあつたりすると、単発でやっている地域イベントというのもすごくいいんだけど、南区はこれだ、「みどりのつどい」なんだとって、何日の午後には高校生が来てるとか、そういったようなのが地域イベントとしてあつたらいい。ウェルビーイングというと、どうしても小さくそれぞれの価値観でとなりがちなんだけど、1日、2日ぐらいは、小さなコミュニティが集まって、みんなで行こう、誰々ちゃんのお母さんが出てるから行こうとか、何か婚活イベントがあるから行こうぐらいの、また、40代以下の方でも楽しめ多世代のいろんなグループの中に混ぜり合つてるようなイベントのしつらえとかがあつたらいいかなとかと思いました。さっきの話の流れで、主体的に自分も南区のデザインに関わつてるような間口とか、集客というか、イベントに関わる人を集めるという工夫みたいなのが、今後のイベントをデザインするときに大事なのかなというふうに思いました。

橋爪座長

ありがとうございます。伝統的な祭りは基本的に神事中心ですけど、周りの祭礼は仕事どころじゃなくて、盛り上がる人たちがたくさんいるのが祭礼ですよ。だから新しい祭りをつくるというところだろうと思っていますが、他いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、おおよそ意見いろいろいただいたと思います。

アンケート結果を踏まえて、資料3というのが出てきております。特に南区のどこに満足、不満足を感じるかは世代ごとに様々だというのがアンケートでも出ていたかと思えますし、それを踏まえて、価値観の強みを伸ばして、弱みを改善するというふうなことが根幹にあるということです。

たくさんのご意見いただきましたが、行政機関としてどのように反映していくのかというのは、区及び市のほうでご検討いただければと思いますの

で、よろしくお願いいたします。

この資料3、4の扱いを今後どうしていく予定でしょうか。

区政企画室長

2月に最終の全大会というのを予定していますので、これまでの議論を踏まえて、第1期の区政策会議での方向性を変えずに、新たにどういった視点で取組がやっていけるかというところを最後の会議でお示しできたらなと思っております。

今日いただいたご意見を踏まえて、ご提案というのはさせていただきたいなと思っておりますので、その土台として資料3は活用させていただきたいと思っております。

橋爪座長

ありがとうございました。

それでは、本日予定しております議題は以上でございます。円滑に進めることができました。ありがとうございました。

では、進行を事務局にお返しいたします。

区政企画室主幹

座長、ありがとうございました。

構成員の皆様、本日は長時間にわたりご議論いただきまして誠にありがとうございました。

これもちまして、第2期堺市南区政策会議第5回全大会を終了いたします。

なお、次回のこの会議、区政策会議につきましては、あらかじめお知らせさせていただいておりますとおり、南区選出議員との意見交換会となっております。本日と同じ場所、この区役所201、202会議室にて、11月15日金曜日、18時から開催を予定しております。正式な通知文は後日発出させていただきますので、ご出席賜りますよう何とぞよろしくお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。

閉会（午後7時50分）